

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	独立行政法人国立病院機構相模原病院	階数	地上3F
建設地	相模原市南区桜台4100番18、4012番2、4012番3、4012番4	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2019年9月5日
敷地面積	72,057 m <sup>2</sup>	作成者	(株)内藤建築事務所 東京事務所
建築面積	9,006 m <sup>2</sup>	確認日	2019年9月5日
延床面積	17,944 m <sup>2</sup>	確認者	(株)内藤建築事務所 東京事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 2.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
・小田急小田原線の小田急相模原駅から徒歩15分の閑静な住宅街に計画された総合病院である。本計画では外来管理棟の増築を行う。		0
<b>Q1 室内環境</b> ・F☆☆☆☆を採用し、室内環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・建物の構造は重要度係数1.5を採用している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 0
<b>LR1 エネルギー</b> 0	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 0	<b>LR3 敷地外環境</b> ・駐輪場、駐車場、管理用駐車場等を十分に確保し、交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される